ITスキル実習

PowerPointでプレゼンを作る

今回の内容

- ・プレゼンテーション準備の流れに沿って、
 - PowerPointの機能
 - 良いプレゼンテーションを作るポイント を学ぶ



課題

- ・以下のテーマの中から1つを選んでプレゼン
 テーション資料を作る
 - 研究紹介 or 研究計画
 - ・目的:おもしろそうな研究だと思わせる
 - お国自慢
 - ・お国:生まれた町/国、住んでいる町 etc.
 - ・目的:聞いた人に行ってみたい・住みたいと思わせる

1. 全体の流れを考える



1. 全体の流れを考える

- 最初から細かい見た目にこだわらない
 - アウトライン機能を使って考える
 - スライドー覧表示を使って考える
 - 紙と鉛筆で考えるのが理想

アウトライン機能

2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	スライド アウトライン 1 ITスキル実習 PowerPointでプレゼンを作る 2 今回の内容 3 課題 ・以下のテーマの中から1つを選んでプレゼンテー -研究紹介 or 研究計画 ・目的:おもしろそうな研究だと思わせる -お国自慢 ・お国:生まれた町/国、住んでいる町 etc. ・目的:聞いた人に行ってみたい・住みたいと思 4 1.全体の流れを考える ・最初から細かい見た目にこだわらない -アウトライン機能を使って考える
3	 ・お国:生まれた町/国、住んでいる町 etc. ・目的:聞いた人に行ってみたい・住みたいと# 4 1.全体の流れを考える ・最初から細かい見た目にこだわらない -アウトライン機能を使って考える -スライドー覧表示を使って考える -紙と鉛筆で考えるのが理想

アウトラインの編集

- Tab キー:レベルを下げる
- Shift + Tab キー:レベルを上げる



スライドー覧表示

• 左下のボタンで切り替え



良いプレゼンテーション構成

• 重要なことは最初に言う

聴衆はちゃんと聞いていない! …でも最初くらいは聞いてる

・重要なことは何回も言う

- 最低でも「最初+最後」

聴衆はちゃんと聞いていない! …でも何回も言えば1回くらいは聞いてくれる

プレゼンの基本的な構成

背景

- 発表内容を理解するために必要な一般的知識

- 主題=1番言いたいこと
 -プレゼン内容によっては、背景より先でも良い
- 主張の根拠
 実験や調査の内容(仮説・手順・結果 etc.)
- 結論=1番言いたいこと

プレゼン構成のタブーと対策

• 内容が多すぎる

伝わるメッセージは最大で3つと思いましょう (言いたいことを列挙して3つに絞る)

- ・最初に目次や発表の構成を話す
 1番聞いてタイミングには1番聞いてほしいこと!
- 最後のスライドが
 「ご清聴ありがとうございました」

1番長く表示されるスライドには1番見てほしいこと!

2. デザイン・配色を決める



2. デザイン・配色を決める

後でデザインを変更すると、レイアウトが崩れる場合があるので先に決めるのがオススメ



スライドマスター

- オリジナルのデザインを作りたい場合に使う
- マスター編集画面で行った編集は、同じレイ
 アウトを使うすべてのスライドに適用される
- 1つのプレゼンの中で複数のデザインを使いたい場合には新しいマスタを追加する



3. スライドを作る

- わかりやすさが一番重要
- ・箇条書きのスライドばかりにならないように
 アウトラインに入力した内容は仮のもの

良いプレゼンテーション(スライド)

- ・文字は少なく、大きくする
- 1つのスライドに詰め込まない
 文字が多いと読んでしまうので聞いてもらえない!
- 図・写真・グラフを使う(+ビデオ)
 百聞は一見にしかず!

レイアウト

・スライド毎に適切なレイアウトを選ぶ



既にあるスライドのレイアウトを変更する場合

なかなか便利な「比較」レイアウト (3つ以上を比較する場合は、表が便利)

なぜ比較が便利か?

- 新しいものを理解するのは難しい
- 知っているものと比べるとわかりやすくなる

比較の例(箇条書きを使う場合)

- 神戸市
 - 関西(兵庫県)
 - 人口:約154万人
 - 観光入込客数:約3015万人(2009年)
 - 海に面している、山もある
 - 空港がある
 - 中華街
- 横浜市
 - 関東(神奈川県)
 - 人口:約367万人
 - 観光客数:約4,253万人(2008年)
 - 海に面している
 - 空港がない(羽田・成田を利用)
 - 中華街

比較の例(比較レイアウトを使う場合)

神戸市

- 関西(兵庫県)
- 人口:約154万人
- 観光客数:約3015万人 (2009年)
- 海に面している、山もある
- 空港がある
- 中華街がある

横浜市

- 関東(神奈川県)
- 人口:約367万人
- 観光客数:約4,253万人 (2008年)
- 海に面している
- 空港がない
 羽田・成田を利用
- 中華街がある

表を挿入する

スライド編集画面から挿入



リボンUIから挿入する

▲ ホーム	図の書式設定	テーマ	表		
表のオプション					
2	√ タイトル行	最初の列			
	集計行	最後の列			
新規 √ 縞模様 (行)		編模様 (列)		
3 x 4 表					
141	の川如(簡巻書きを使う	送合) [[

行/列の挿入と削除

• 挿入したい部分で右クリック

1111			
ロクリック	カット	жх	3
	コピー	жC	
	ペースト	жv	
	フォント	жт	
	段落	Νжγ	
	簡条書きと段落	番号	
	挿入		左に列を挿入
	削除		右に列を挿入
	選択	Þ	上に行を挿入
	セルの結合		下に行を挿入
	セルの分割		

比較の例(表を使う場合)

	神戸市	横浜市	長崎市
場所	関西(兵庫県)	関東(神奈川県)	九州(長崎県)
人口	約154万人	約367万人	約44万人
観光客数	約3015万人 (2009年)	約4,253 万人 (2008年)	約594万人 (2011年)
Щ	山と海に 挟まれている	市内には特になし	山に三方を 囲まれている
空港	ある	ない (羽田・成田を利用)	ある
中華街	ある	ある、広い	ある

※データは各市のページおよびwikipediaから引用しました 今回はあくまで例なので、あまり主張したいことはないですが、 実際に使う場合は「何が言いたいのか」に合わせてデータを集めます

画像や図を挿入する

• Drag & drop, Copy & Paste で簡単に追加可能



リボンUIから 挿入してもOK

・図の書式設定



特によく使う「トリミング」画像の一部を切り出す

図を作る (1) SmartArt

文字を入力するだけで図を作ることができる



SmartArtの例



図を作る(2)図形の挿入

- SmartArtにない図は、
 図形を組み合わせて
 作成する
- 図形編集Tips (次スライド)



図形編集 Tips

- ・細い矢印は線とコネクタを用いる
- 重なり方を変えるには前面(背面)へ移動
- 配置の微調整を行う際はグリッドやスナップの機能をオフにする
- 完成した図をリサイズするときはグループ化



4. 発表練習

- ・学内/学外に関わらず、研究発表をする前には必ず発表練習をしましょう
- ・ 最低1回は、誰かに見てもらいましょう
- 見る人の役割も重要です!
 たくさん質問しましょう
 - チェック項目(次のスライド)

発表練習でのチェック項目

- 誤字・脱字など単純なミスがないか
- スライド毎の情報量が多すぎないか
- 図やグラフを使うべきところがないか
- 滑らかに話せているか
- 聴衆の方を見て話せているか
- 1番言いたいことが伝わってくるか
- 発表時間が適切か
- などなど

発表資料の印刷

- ・「印刷対象」を 「配布資料」にする
 - 6ページか9ページで印
 刷することが多い
- 本番だけでなく、発表 練習でも用意する
 - 気になるところをメモし
 てもらう

プリント		
プリンタ: 133.30.2 プリセット: 標準 印刷部数と印刷・	244.60 ・ ・ ・ ・ ・	
	 部数: 1 ② 丁合い スライド: ● すべて (28スライド) ③ スライド指定: 1 から: 28 ○ 選択されたスライド 印刷対象: 配布資料 (9スライド/1ベ··· ・) スライトンヨー: 9へくのスフィト ・ 出カ: カラー ・ 田紙サイズに合わせてプリントする 非表示スライドをプリントする ダーズレントする ダーズに枠を付けてプリントする 	
 ▲ ▲ 1/4 ▶ ▶▶ ✓ ブリント ブレビューを表示する ページ設定 	•	
? PDF 742-	(キャンセル) プリント	

スライドショーの操作



ノート&発表者ツール

- ・ノート
 - 発表中に見る自分用のメモを書いておく機能 - スライド編集画面の下に入力できる
- 発表者ツール
 - 発表中に経過時間、ノート etc. を見る機能

プレゼン中によく発生するトラブル

- スライドに貼付けたビデオが再生されない
- ビデオが真っ黒になって表示されない
 プロジェクタだけに表示すると直ることが多い

早めに会場に行って、事前にチェック!

- セキュリティソフトの通知が表示される
- Skype等で話しかけられる

OFFにしておくことを忘れずに!

今回扱わなかった内容

アニメーション・画面切り替えエフェクト

- 使わなくても内容が伝わるのが理想
- 使う場合も、使った方が良い場面に限る
- ・グラフ

- Excelのときに扱います

課題

- ・以下のテーマの中から1つを選んでプレゼン
 テーション資料を作る
 - 研究紹介 or 研究計画
 - ・目的:おもしろそうな研究だと思わせる
 - お国自慢
 - ・お国:生まれた町/国、住んでいる町 etc.
 - ・目的:聞いた人に行ってみたい・住みたいと思わせる

課題の要件

- ・以下の機能を最低1回ずつ用いること
 - SmartArt
 - 比較(比較レイアウト or 表)
- ・ノートに発表用のメモを書くこと

スケジュール

- 5月21日 プレゼンを作る - 5月28日の授業が始まるまでに1回提出 (.ppt)
- 5月28日 プレゼンをする(1回戦) - 前半:3~4人の班に分かれて交互にプレゼン
 - ・ 持ち時間は1人10分
 - 後半: 班毎に代表者を決めて、協力して改善する
- ・6月4日 プレゼンをする(決勝戦)
 - 各班の代表者が発表する
 - 改善後の資料を提出(.ppt)